

# 創立三十周年を迎へて

團 長 石 橋 誠 道

光陰は流るゝが如しと云ふ諺の如く、二十年や三十年は夢のやうに過ぎ去つてしまふものである。本校が認可を得てから既に三十年、今や正しく三十周年の佳辰を邀ふる時となつた。この長いようで短かい間に、佛專をこれまでにしたと云ふことは、我宗としては決して容易なことではなかつた。これ全く歴代の校長教職員の努力の結晶と言はねばならぬ。特に前團長小林校長の努力はまた格別のものであつた。然るに不幸にして病の爲に辭職さるゝに至つたので、不肖私がその後を襲ぐことになつたとはいへ、固より不學短才で心中忸怩たるものがある。希くは團員諸君の心からなる援助を得て、出來得る限り努力したいと思つてゐる。

今や東亞の聖戰は愈々重大の度を加へ、前途遼遠と言はねばならぬ。斯る重大時機に方つて、團員諸君は諸共に一致團結して赤誠を盡し、滅私奉公、盡忠報國の信念の下に、各々その職域を全ふされんことを切望して止まぬ次第である。